

住人十色

第 171 回

目標に向けて走り抜けた2人 マラソン大会で男女そろって6連覇

高岡 海成さん(内子小6年) || 内子7 ||
宇都岡奏沙さん(内子小6年) || 内子18第1 ||



◎内子小学校のグラウンドで、6年連続1位の盾を手にした2人。「走るの小さい頃から得意だった」と口をそろえます

2月9日に開かれた「第50回子どもマラソン大会」(11ページに関連記事)で、内子小学校の高岡海成さんと宇都岡奏沙さんが、6年連続1位を達成しました。

練習から本番まで同級生と競い合ってきた高岡さんは「お互い『負けないぞ』と話していた。途中、リードされて焦ったけれど、体力には自信があるから、ラストパートで絶対抜いてやると思った」と、最後は2位に13秒差をつけてゴール。「沿道からの応援が力になった」と声を弾ませます。宇都岡さんは家族と練習を重ねて本番に臨んだといい「2人の姉も6連覇していて、私も絶対になりたいと思った」と振り返ります。「父から『頑張る力と腕の振りが悪くなるから、肩の力を抜いて走ろう』とアドバイスももらった。3姉妹で達成できてうれしいし、ほっとした」と表情を緩ませます。

今後の目標について「中学生になって運動を頑張りたい」と話す2人。サッカーをしている高岡さんは「ポジションはボランチ。運動量が多いからすごく鍛えられたし、マラソンでの優勝も自信になった」とほほ笑みます。宇都岡さんは「バスケットボールを中学校でも続けたい。部で内子町の駅伝大会に出て、区間賞を取ってみたい」と笑顔で話しました。

編集 幸記

▽私事ですが、2月に3男が生まれました。いつまで見ても飽きない兄弟の楽しいやり取りが、これまで以上ににぎやかになりそうです。私と違ってしゃんとした顔をしています。大変さもありますが、これからの成長が楽しみです(史)

▽大瀬中学校のこおろぎファーム見学取材しました。「コオロギ食べてみたい人」と聞かれ、手を挙げる生徒たちにびっくり。取材前からコオロギにビビっていた私は勇気が出ず、昆虫食デビューを見送りました(花)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

